

CVIT 会員 各位

去る、10月18日 CVIT名誉会員 光藤 和明 先生が御逝去されました。

倉敷中央病院循環器内科であり、当学会理事の 門田 一繁 先生に追悼メッセージを寄稿いただきました。また、Secretariat of Asian Pacific Society of Interventional Cardiology (APSIC)の委員として参加いただいている、大阪大学大学院医学系研究科先進心血管治療学寄附講座 角辻 暁 先生より、海外からもたくさんの追悼メールがあったことをご報告いただきました。

長きにわたりご指導いただいたことに感謝を申し上げますとともに、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

日本心血管インターベンション治療学会
理事長 中村 正人

—追悼メッセージ—

門田 一繁（倉敷中央病院 循環器内科）

CVIT名誉会員であられる光藤和明先生が平成27年10月18日、急逝されました。まだまだ多くの事を手がけられていた最中の事であり、遣り残された事の大きさを思うと残念でなりません。

光藤和明先生はPCIの草創期より、PCIの手技の向上・標準化に取り組み、また、様々なデバイスの開発・導入も行い、日本のみならず世界のPCIの発展にも大きく貢献されました。また、倉敷ライブをはじめ、多くのライブや実地指導などで、後進の育成も熱心にされてこられました。学会活動においても、多くの重責を果たされるとともに、2つに分かれた学会の統合に大変ご尽力され、CVIT誕生に大きく貢献されました。

CVIT会員をはじめ多くの医師が光藤先生から、様々な形で教えを受けてきました。

ここに、CVIT会員とともに、心から尊敬と感謝を捧げ、謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

角辻 暁（大阪大学大学院医学系研究科先進心血管治療学寄附講座）

光藤和明先生御逝去は、本当に突然のことで、ご家族の方々は大変なショックを受けられていることと思います。そのショックの大きさには比べるべくもないですが、我々心血管内治療を行っている医師も本当に驚き、ショックを受け、光藤先生のなされたことを振り返るに当たりその大きさを再認識している日々です。

私と山本義人先生（福島県いわき共立病院）は Secretariat of Asian Pacific Society of Interventional Cardiology (APSIC) というアジアパシフィックの心血管内治療学会に日本からの委員として参加しており、アジアパシフィック各国のドクターからの追悼のメールを多く頂きました。台湾・韓国・中国・ベトナム・マレーシア・シンガポール・インドネシア・バングラデシュ・ニュージーランドなど多くの国のドクターの気持ちが少しでも光藤先生とご家族にお伝えできればと思っています。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。